

1. 多文化共生社会づくり推進事業

～多文化共生社会の構築を推進する事業～

(1) 多文化共生のまちづくりサポート事業

① 多文化共生オフィス運営事業

・多言語相談窓口運営

多文化共生オフィスにおいて、次のとおり多言語での相談及び法律、出入国に関する相談業務を実施しました。また、必要に応じて外国籍児童とその保護者のための教育相談を受け付け、情報提供、アドバイスを行いました。

相談件数 5,091件

多文化共生オフィスオープン時間 9:00～20:00

●日本語、英語、中国語	随時	9:00～20:00
●中国、中国語に関する相談*	毎週火曜日	13:00～17:00
●ドイツ、ドイツ語に関する相談*	毎週水曜日	13:00～17:00
●韓国、韓国語に関する相談*	毎週木曜日	13:00～17:00
●カナダ、英語に関する相談*	毎週金曜日	13:00～17:00
●タガログ語相談	第2水曜日	13:00～17:00
●スペイン語相談	第1金曜日	13:00～17:00
●韓国人のための生活相談	第3水・木曜日	13:00～17:00
●中国人のための生活相談	毎週水・金・日曜日	13:00～18:00
●出入国管理法及び難民認定法に関する相談 **	第1水曜日	13:00～15:00
●外国人のための無料法律相談 **	第3土曜日	14:00～16:00

* 熊本市国際交流員相談

** 前日の午前中までに予約が必要

・市政だよりの多言語化

情報（語学）ボランティア登録者を活用し、毎月、市政だよりの生活・催し・健康の中から在住外国人にとって必要な情報を多言語（英語、中国語、韓国語）に翻訳しHP上へ掲載しました。

・KIFメールマガジン-KIFニュース

KIFの主催するセミナー・交流会・講座の他、民間国際交流・協力団体が実施する催し物情報を、毎週1回、KIFニュースとしてインターネット上で配信しました。

KIFニュース登録者数651人

・あんしん・あんぜん・災害・生活情報 eメールマガジン

携帯メールを利用して、外国人向けに災害時にやさしい日本語の他英語、中国語の多言語で情報提供する「あんしん・あんぜん・災害・生活情報 eメールマガジン」に登録いただいた外国人の方々に、災害時だけでなく、定期的に生活情報・イベント情報を配信しました。

配信頻度 毎月10日配信

登録者 273人

(内訳：英語 75人、中国語 191人、日本語 7人)

② 多文化共生月間事業

- ・多文化共生写真展「くまもとへ！」

期 間：平成27年2月1日～2月28日

場 所：国際交流会館1Fエントランスホール

内 容：KIFの多文化共生の取り組みや熊本市の在日外国人の現状及び在留資格等の資料と外国人向けアンケート結果を掲示し多文化共生社会を考える一助としました。あわせて外国人向けに行った日本文化体験（書道）作品を展示しました。



- ・多文化共生シンポジウム～多文化共生社会づくりと外国人の人権～

多文化共生社会の実現に向け、熊本市人権啓発市民協議会及び熊本市と共催で、外国人の人権をテーマに啓発シンポジウムを開催しました。

日 時：平成27年2月24日（火）13:30～16:00

場 所：国際交流会館7Fメインホール

参加人数：130人

《基調講演》

「多文化共生と地域の未来 ～グローバル時代の人権と私たちの役割～」

講師 田村 太郎氏（（特）多文化共生センター大阪代表理事）

《パネルディスカッション》

「地域のグローバル化と人権」

パネリスト

重光 悦枝氏（重光産業(株) 代表取締役副社長）

申 明直氏（熊本学園大学 教授）

中島眞一郎氏（コムスタカ 外国人と共に生きる会）

コーディネーター

八木 浩光（KIF）



③ 地域サポート事業

・多文化共生地域サポート活動

各区役所保健子ども課及び生活保護課等からの依頼に応じ、直接地域（家庭訪問）に向き、多言語による支援を行いました。予防接種、検診等の情報をはじめ、行政情報・生活情報全般の提供を行いました。定期的な会議を行い、情報を共有するとともに、その傾向と対策について話し合いました。

件数：62件

国籍	分野	赤ちゃん訪問	医療通訳	生活保護	保健衛生	居住	教育	在留資格	DV	その他	計
中国		3	7	1	4	2	2	1		2	22
バングラデシュ		10	1		2		1				14
ペルー				3		2	2				7
インドネシア		4									4
エジプト		2			1						3
韓国			2								2
エチオピア					2						2
アフガニスタン		2									2
インド		1									1
フィリピン						1			1		2
ベトナム			1								1
不明		1				1					2
計		23	11	4	9	6	5	1	1	2	62

・多文化共生ソーシャルワーカー活動

外国人の個々の課題に応じ、その問題解決までを、関係団体と協力のもと実施しました。住宅問題、就労、生活困窮など問題が複雑化している傾向にあります。また、今年度は医療現場における通訳サポート体制を整えました。国立病院機構熊本医療センターメディカルサポートくまもとと共同で医療通訳ボランティアの養成講座を実施し、修了生を国立病院からの派遣要請に応じ、派遣を行いました。

派遣件数：26件（内、国立病院機構熊本医療センターからの依頼 2件／H27.1月～3月）

・2014年第1回医療通訳ボランティア養成講座

在住外国人、海外からの訪問者が増加する中、多文化共生社会づくりの推進を目的に、国立病院機構熊本医療センター、メディカルサポートくまもとと連携、協力を図り、医療通訳ボランティア養成講座を開催し、医療通訳ボランティア派遣制度を開始しました。

第1回 医療通訳ボランティア養成講座オリエンテーション

日時：平成26年7月27日(日) 10:00~16:30

場所：国際交流会館4F 第3会議室

参加者：56人

第1回 医療通訳ボランティア養成講座

医療通訳活動で必要となる項目を7回講座で開催し、医療通訳ボランティアの育成を図り、メディカルサポートくまもとへのボランティア登録を行った。

尚、国立病院機構熊本医療センター、メディカルサポートくまもととK I Fで協定を締結、同医療センターへ救急搬送される外国人等の医療通訳ボランティア活動を行った。

参加者：46人(うち修了証授与者33人)

回数	日にち	会場	内容	講師(敬称略)
1	9月13日(土) 13:30~16:30	3F 国際会議室	医療通訳総論・ 基礎知識	長崎県立大学 李 節子氏
2	9月28日(日) 13:30~16:30	3F 国際会議室	救急医療・内科編 講義	国立病院 山口 充氏
3	10月19日(日) 13:30~16:30	3F 国際会議室	救急医療・内科編 ロールプレイ	国立病院 山口 充氏
4	11月2日(日) 13:30~16:30	3F 国際会議室	救急医療・外科編 講義	国立病院 山口 充氏
5	11月23日(日・祝) 13:30~16:30	3F 国際会議室	救急医療・外科編 ロールプレイ	国立病院 山口 充氏
6	11月30日(日) 13:30~16:30	3F 国際会議室	通訳技術及び 理解度チェック	メディカルサポート くまもと 最相博子氏
7	12月14日(日) 13:30~16:30	3F 国際会議室	医療通訳講座まとめ 修了証授与	

(2) 日本語支援事業

① くらしのにほんごくらぶ

外国人が熊本で生活する上で必要な日本語をマスターし、地域社会の生活に早く順応できるよう、日本語会話や日本の生活習慣を学ぶ「くらしのにほんごくらぶ」を行いました。日本語学習をサポートするボランティアと、一対一を基本として学習を行うと共に、日本文化体験や交流会などを実施しました。

活動日：毎週 火曜日 10:00~12:00

水曜日 10:00~12:00, 14:00~16:00,
18:30~20:00

日曜日 10:00~12:00, 14:00~16:00

参加学習者数：延べ3,193人

ボランティア活動者数：延べ3,110人

場所：国際交流会館2F ミーティングルーム、
2F 交流ラウンジ



交流会（対象：学習者とボランティア）

●月見団子づくり

日 時：平成26年9月14日（日）14:30～16:00

場 所：国際交流会館4F第3会議室

参加人数：57人

●年末交流会

日 時：平成26年12月14日（日）13:00～16:00

場 所：国際交流会館4F第3会議室

参加人数：83人

●茶道体験（初茶会）

日 時：平成27年1月7日（水）10:00～／14:00～／18:30～

場 所：国際交流会館B2F多目的ルーム

参加人数：65人

●書道体験（書き初め）

日 時：平成27年1月18日（日）12:30～／13:30

場 所：国際交流会館B2F多目的ルーム

講 師：KIFサポートセンターボランティア

参加人数：12人

●古新聞でエコバック作り

日 時：平成27年2月22日（日）10:00～12:00

場 所：国際交流会館2F交流ラウンジ

講 師：KIFサポートセンターボランティア

参加人数：16人

●お花見交流会

日 時：平成27年3月29日（日）12:10～15:00

場 所：熊本城付近

参加人数：50人



② 初級日本語集中講座

国際結婚等により日本に来て間もない、または、日本語の基礎文法を学んだことのない在住外国人を対象に、1週間（1日6時間）集中的に日本語を学ぶ講座を開講しました。

期 間：1) 平成26年6月28日～30日、7月5日～7日	参加人数：5人
2) 平成26年9月3日～5日、13日～15日	参加人数：10人
3) 平成26年12月13日～15日、2月19日～21日	参加人数：3人
4) 平成27年3月2日～4日、6日～8日	参加人数：5人

※最終日は成果発表会&交流会を実施

時 間：9:30～16:30（12:30～13:30休憩）

講 師：日本語教師

参加人数：23人

③ 生活日本語支援ボランティア研修会

開催日：平成27年3月28日（土）
場 所：国際交流会館4F第3会議室
講 師：樋口 久美子氏
参加者：21人



④ 地域日本語教室 武蔵丘・健軍教室

〈健軍教室〉

開催日：第1,3,4月曜日・火曜日 10:00～11:30
場 所：よって館ね（健軍商店街ピアクレス内）
講 師：生活日本語支援ボランティア
学習者：延べ71人（協力ボランティア数 述べ71人）
参加費：1回100円（教材コピー代）

〈武蔵ヶ丘教室〉

開催日：毎週火曜日 10:00～11:30
場 所：ご近所くらぶよりみち（武蔵ヶ丘団地内）
講 師：生活日本語支援ボランティア
学習者：延べ267人（協力ボランティア 述べ115人）
参加費：300円（お茶代）

（3）外国人のための防災事業

① 防災意見交換会

在住外国人コミュニティ代表及び各関係団体関係者が集まり防災・災害時対応ネットワーク構築及び防災・災害時に必要な情報及び効率的かつ確実な災害情報配信方法等について考え、意見交換を行いました。

日 時：平成26年12月21日（日）13:30～15:00

場 所：国際交流会館2F NGO活動スペース

参加団体：

- ・熊本フィリピン人会 代表 松田 アデラ氏
- ・ロシア人コミュニティ 代表 ムヒナ・ヴァルヴァラ氏
- ・熊本中国人留学生会 代表 孫 敬軒氏
- ・多文化多種共生コミュニティMuMuCo 代表 佐久間 より子氏
- ・大学コンソーシアム熊本 宮崎 和子氏
- ・KIF（吉田直・谷尾陽子）

② 外国人のための防災ラジオ放送や防災カードの配布

熊本シティエフエムにおいて、多言語（英語、中国語、韓国語、タガログ語）による防災情報を定期的に放送しました。国際交流会館で日本語を学ぶ外国人をはじめ、各在住外国人グループリーダーを通じて、防災カードを配布しました。

③ 災害メール

生活情報メールマガジンの配信システムを活用し、登録者に災害情報を日本語・中国語・英語の各言語で配信しました。

回数：各言語12回

(4) 外国籍の子どもの支援事業

① 進路ガイダンス

中国帰国者の呼び寄せや国際結婚などで来日する外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者を対象に日本の教育システムや高校受験の際の特別措置・配慮などについて詳しく説明をするガイダンスを実施しました。

日 時：平成26年7月13日（日）13:30～16:30

場 所：国際交流会館4F第1・第3会議室

参加人数：109人

（中学生21人、小学生2人、保護者18人、中学校担任教師4人、通訳12人、小中教師8人、高校教師4人、先輩高校生11人、人権同和教育課3人、県教育委員会1人、ボランティア大学生11人・スタッフ14人）

参加費：無料



② 外国籍児童のための教育サポート

外国にルーツを持つ子どもたちが増え、彼らの日本語教育に対する対応が受け入れ先で違ったり、学校に馴染めず不登校になったりしている現状について、教員や日本語教師等が集まり、情報交換を行うと共に、改善策、支援方法について話し合いました。

義務教育期間における日本語指導が必要な外国籍児童に対し、先輩高校生達及び支援者が集まり、日本語の補習や教科指導等も行う「おるがったステーション」を国際交流会館において開催しました。

教育相談

開催日：水曜日、金曜日、日曜日 13:00～18:00

場 所：国際交流会館2F交流ラウンジ

相談員：谷尾 陽子

件 数：14件

③ 連携事業：黒髪小学校・桜山中学校日本語センター校との連携

熊本大学留学生等の家族が多く集住するの黒髪地区に新たに設けられた桜山中学校を含む日本語センター校との連携を図り、特にイスラム教文化圏児童への文化背景サポー

ト（食事、肌を見せる水泳など）が必要となるため、文化理解等を含めた説明会に協力しました。その他、在日外国人生徒交流会、黒髪小学校日本語センター校の協力も行いました。

開講式への参加：平成26年5月13日（火）

閉校式への参加：平成27年2月27日（金）